

学校通信 陽光



令和5年度 7月号
多可町立八千代中学校
令和5年7月3日(月)発行



<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>
電話 37-0049 文責：校長 神崎

多可郡総合体育大会を終えて・・・

学校長 神崎進吾



6月10日(土)は、吹奏楽が北播中学校吹奏楽祭に出場、また、17日(土)には、運動部が多可郡総合体育大会に出場しました。いずれもこの3年間の部活動の一つの大きな目標とする大会です。また、最近では、学校外のクラブチームに所属する生徒も増えてきており、それぞれ目標とする大会があり、それに向けて懸命に練習に励んできました。

中学生が輝くことのできる瞬間はたくさんありますが、この総体は、私が大好きな瞬間の一つです。どの競技もこれまで3年間で培い磨いた技を競い合い、真剣勝負でプレーする。教室とはまた違った一回り大きく逞しい姿を見ることができ、嬉しい気持ちでいっぱいになります。

全ての試合に応援に行きましたが、それぞれのチーム事情とこれまでの苦労を知っているだけに、応援にも力が入りました。3年生2名でチームを支えてきた男子ソフトテニス部。反対に3年生12名、2年生11名の大所帯で、チームをまとめるのが大変であった女子ソフトテニス部。ソフトボール部は、3年生5名、2年生4名。ギリギリのチーム編成で、一人が欠けても大変な状況でした。(サッカー部は郡内3中の合同チームで、多可郡総体はありません)みんなそれぞれのチーム事情の中、ベストを尽くしてここまでやってきました。

どの部の頑張りも素晴らしいものでしたが、私が特に印象に残ったのが野球部の試合でした。野球部は、部員数、3年生12名、2年生1名、1年生2名の計15名。3年生の内、小学校の間に野球のクラブチームに所属していたのは、わずかに3名。中学校の野球部としては、極めて珍しい状況です。

実は、彼らの学年は、男子生徒が16名しかいません。野球、サッカー、ソフトテニス、吹奏楽とばらけて入部すれば、どの部も1学年ではチームが編成できない状況でした。そこで、仲の良い彼らは、この学年の仲間と一緒にチームをつくりたいとの想いで相談し、その多くが野球部に入部したのです。これもまた稀な例といって良いでしょう。しかし、いくら小学校時代にサッカー等、他の種目の運動経験があるとはいえその経験差は大きく、なかなか最初は他校に勝利することができない状況が続きました。

そんな彼らの長所は、チームメイトみんなの仲が良いこと。そして、何より野球が好きだということです。ご存じのとおり、現在、部活動は、令和元年度より文部科学省の指導の下、「部活動ガイドライン」が制定されており、それに基づいて活動を行っています。平日2時間程度、土日は3時間程度。そして、平日で1日、土日のうち1日は休みという活動制限があります。これは、部活動の過熱すぎによる生徒への負担を考慮した制限です。それでも、野球が好きな彼らは、練習が休みの日曜日などに、よくみんなで集まって野球をしており、その姿をよくみかけました。

しかし、ライバルである中町中・加美中連合は、合同チームとはいえ、野球経験者の集まりで、練習試合を含め、なかなか勝つことができていませんでした。昨年、行われた郡新人大会では0-5で破れ、この春に行われた練習試合でも勝つことはできませんでした。

そのような中で迎えた郡総体。幸先良く先制点を奪ったものの、先にリードしていても油断できません。応援しているこちらにも、一球一球に力が入りました。しかし、彼らは緊張感のある中でも、元気よく声をかけあい、澆刺としたプレーで最後まで戦い抜き、見事、6-1で勝利を収めました。

そんな彼らの爽やかな勝利、私もとても嬉しく思いました。応援されている保護者の皆さんの喜びもひとしおであったことでしょう。



もちろん、この郡総体は勝負の世界です。思うような結果が出た人も、そうでない人もいますが、部活動で一番大切なことは、この3年間の取組を通して何を学んだかということです。

「何でも本気でやるから面白い。何でも本気でやるから学びがある」

集会の際に、私が生徒たちによく話をする言葉です。勉強でも、部活動でも、学校行事でも、目の前にあることから逃げずに、本気で取り組むこと。中学生にとってとても大切なことです。何でも自分の思うようにできることなど、そう多くはありません。きっと苦手なこともあるでしょう。一生懸命にやってもうまくいかないこともあるでしょう。失敗もあるでしょう。そこから逃げずに正面から向き合う。あきらめずに工夫して取り組む。努力を積み重ねる。そんな中で自分なりに少しずつ伸びていきます。だからこそ喜びがあり、学びがあります。仲間と一緒に、一つのことを成し遂げたり創り上げたりする経験は、人として大きく成長させてくれます。

きっと本気で部活動やクラブチームの活動に取り組んだ人は、たくさんのことを学んだことと思います。その想いや学びを胸に、次は東播総体等の次の大会や受験勉強など、新たな目標に向けて、上手に気持ちを切り替えて臨んでほしいと思います。

1、《特集》いじめについて考える

6月の生徒朝会で、簡単なプレゼンテーションをもとに「どうして、いじめは無くならないのだろう？」というテーマで生徒たちが「いじめ」について考える機会を設けました。

平成26年度に制定された「いじめ防止対策推進法」によれば、現在、いじめの定義は以下のとおりです。

「いじめ」を「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校(※)に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義。

※起こった場所は学校の内外を問わず、例えば通学路や自宅、インターネット上で起きたものも含まれる。

法律なので少し文言が難しいのですが、平たく言えば、次の3つの条件に当てはまる行為を『いじめ』と定義しています。

- (1) 被害者・加害者が知り合い同士。
- (2) 心理的または物理的な影響を与える行為があった。
- (3) 被害を受けた子どもが心身の苦痛を感じている。

現在、定義されている「いじめ」は、保護者の皆様がイメージされている一般的ないじめの定義より、より幅広いものです。特に(3)の「被害を受けた子どもが心身の苦痛を感じている」かどうかがポイントになります。これは、いじめの被害者を守る観点から、被害者側の立場に立って定義の見直しが図られたものです。例えば、次のようなケースは典型的ないじめと言えるでしょう。

①肉体的苦痛を与えるいじめ(例)

- ・殴る／蹴る／たたく・物をぶつける・閉じ込める・髪の毛を引っ張る
- ・水や泥をかける・プロレスごっこを強要する・鉛筆やコンパスを突き刺す など

②精神的苦痛を与えるいじめ(例)

- ・無視をする・物を隠す・からかう・嫌がるあだ名で呼ぶ・パシリをさせる
- ・誹謗中傷など悪質なメールやメッセージを送る・相手の嫌がる言葉で攻撃する
- ・仲間外れにする



「いじめ」は「ハラスメント」の一種と言えます。「ハラスメント」は、相手に対する発言や行動によって、身体的または精神的な苦痛を与える行為を言います。

これら①・②は、典型的ないじめであり、してはいけない行為であることは、生徒たちも頭ではよくわかっています。わかっているつもりと言って良いでしょう。しかし、こうしたことを、深く考えずについてしまう事例が少なからずあります。

その場合、頭の中で理解している「いじめ」行為と実際に自分がしている行為が、うまく結びついていないケースが大半です。自分のとった言動によって、相手が「嫌な想い」をしていたり、「傷ついている」ことに考えが及んでいない。そこまで深く考えず、軽はずみな言動をしてしまっていることが少なからずあります。

そういう意味でもいわゆる「セクハラ」や「パワハラ」と似た構造で、いじめはおこっていると言えるのではないのでしょうか。

生徒たちには、次の二つの事例について、それぞれどこが危ういのか(いじめに繋がる可能性があるのか)を考えてもらいました。

一見すると問題がないように見受けられる事例ですが、両事例とも、その後、A 君、C 君は、学校に来にくくなり、その後、本人の口からそれぞれの行為が「嫌だった」と申し出があり、「いじめ」があったと判断されたケースです。

【事例Ⅰ】

Aくんは、いじられキャラ。いつもいじられて喜んでいる。今日もみんなでクラスを盛り上げようと、Aくんをいじった。Aくんは、笑いがとれて嬉しそうだった。

【事例Ⅰ】の場合は、「いじられることを本人も楽しんでいる」「遊びや悪ふざけだ」と周囲が思っていたとしても、必ずしも、本当にいじられている本人が楽しんでいるとは限りません。思いのほか、人間関係の中でそのキャラを嫌々引き受けているケースや、内心傷ついているケースも見受けられます。また、「いじられキャラ」を演じている生徒の中には、そのキャラを外せないで、少々のことを言われても我慢している生徒もいます。大切なポイントは、本人が本当はどう感じているかです。このケースも、内心では「そこまで言わなくても」と思いつつ、言い出せずに我慢し続けたケースです。テレビ等でこのような「いじられ芸」を得意とする芸人さんは、「自分がいじられることを芸として笑いをとっているプロ」です。それを自分たちも許されるものとして、安易にマネする傾向もあります。「いじる」という行為の危うさを心してほしいと思います。

【事例2】

Bくんは、学校から帰ると、毎日、Cくんを誘ってオンラインゲームを楽しんでいる。ついつい長く（2時間を越えることも…）になってしまうが、C君はいつも一緒に遊んでくれる。

【事例2】は、ほとんどの生徒が問題ないと捉えていました。文面の情報だけだと、確かにそう考えるのも無理はありません。しかし、この場合、実はB君とC君の間には力関係があり、B君の言うことにC君は逆らいにくい関係にありました。B君は、自分たちは仲良しであると考えており、そのことに気がついていませんでした。しかし、周囲から見ると、明らかに普段の生活の中でB君とC君の間には上下関係があり、C君はB君の顔色をうかがい、その言うことに従っている様子がありました。C君は、日頃から保護者からゲームの時間について注意を受けており、自分でもこのままだとマズいと感じており、「本当は、毎日やりすぎだと思っているが、相手に気を使って断れない」状況でした。それでもB君には嫌だと言い出せず、日頃の関係も含めてストレスがたまり、登校しにくくなってしまったのです。



このように、相手が嫌だと拒否していないからと言って、必ずしもOKとはかぎりません。特に一見、仲良しに見えるグループの中にも、上下関係がある場合は、なかなかその関係性が見えにくい場合もあります。そのような場合、内心は、「嫌だ」「止めてほしい」と思っているが、言い出せないまま、ストレスを抱えてしまうこともあります。

この二つのケース、特に【事例2】は、なかなかわかりにくいケースです。一見、仲良しに見えるグループの中にも、上下関係がある場合、当の本人たちにその自覚がない場合もあります。特に中学生ともなると、自尊心もあり、友達関係の中で、自分が「下」に扱われていることを認めたくない場合、表面上は、対等の友達としてつきあっているように振る舞う場合もあります。でも、じっくりと話を聴けば、その胸の内を吐露することがあります。

先に、いじめは「ハラスメント」の一種だと言いましたが、自分ではOKだと思っていることが、相手にとってはそうでない場合が多々あります。何より大切なことは、日頃の自分や友達の言動が、ハラスメントではないか、いじめに繋がっていることはないか、といったことに敏感になること。まさに、これこそが人権感覚だと思うのです。

自分の心と体を大切にする。それと同じように友達の心と体を大切にできる。そんなみんなが居心地の良い八千代中学校をみんなでつくっていきましょう。

2、6月の教育活動

<2年生、トライやる・ウィーク>

5月28日（月）から始まった本年度の「トライやる・ウィーク」。残念ながら、最終日は豪雨による警報が発令されたため中止となってしまいましたが、生徒たちにとって一生心に残るかけがえのない体験となりました。普段の学校生活とは全く異なる環境の中で、さまざまな人との交流を通じて人間関係を築くこと、自己責任の自覚や自律・自制の心を養うこと、働くことの大変さを知ること等の貴重な経験を積むことができたと思います。この期間に教えていただいたこと、ほめていただいたこと、注意されたこと、すべてが生徒たちにとって大きな学びとなりました。

今年は八千代区内を中心に、43名の生徒が18の事業所にお世話になりました。受け入れていただいた事業所の皆様には、ご多用な中、貴重な時間を割いていただき、計画から活動に至るまで、細やかなお心遣いと温かいご指導をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、保護者の皆様におかれましては、お弁当の準備や送迎等、ご協力ありがとうございました。期間中ご家庭でも、お子様と様々な形でこの「トライやる・ウィーク」について、お話になられたことと思います。

「一週間という短い期間で、生徒たちが目に見えて変わる」ということはありませんが、教室では学

べない「何か」を感じ取り、今後の自分の進路や生き方に活かしてくれるであろうと期待しています。



<学力向上に向けて！>

① 1年生理科、研究授業

6月5日（月）、6校時に1年生理科の研究授業を行いました。授業者はY先生で、単元は「動物の特徴と分類」です。授業では、様々な脊椎動物について、インターネットを活用してその特徴を調べ、相違点に着目し分類しました。生徒たちは終始和やかな雰囲気のもと、一生懸命に調べ学習に臨んでいました。授業後は、多可町の学力向上アドバイザーである森ノ宮医療大学のA先生をお招きして、事後研修を行いました。研修では、「八千代中として生徒に身につけさせたい学力とは何なのか」を今一度確認する良い機会となりました。①インプットの力（読む、聴く）②アウトプットの力（書く、話す）③計画力・実行力・やり抜く力 の3点が焦点化されました。これらの力の育成をより意識し、授業づくりに励みます。



② 3年生体育、跳び箱跳び～

6月9日（金）、5校時に3年生男子が体育科で跳び箱跳びを行いました。体育館に3列に分かれて順に跳んでいくのですが、一番に目に入ったのは、跳び箱を跳んだ先の長机に置いてあるタブレットです。これは、生徒が自分の跳んでいる様子を見るために設置されたもので、画面にはカメラを通して10秒後の映像が常に流れて



います。生徒は、跳び箱を跳んだ後、ここで自分の跳ぶ姿をチェックし、改善点を把握した後、そこを修正して次に再挑戦に向かいます。ICTを効果的に使った授業実践を、日常的に進めています。

③ 学力向上研修

多可町では、子どもたちの学力向上を目指して、多可町学力向上3カ年計画に基づき取組を進めています。その一環として、森ノ宮医療大学のA先生を学力向上アドバイザーとして招聘し、「多可町授業づくり10ポイント」による授業改善を進めています。6月14日（水）には、放課後に教職員が多可町役場の現地会場と職員室（オンライン会場）に分かれて研修を行いました。授業づくりの基本となる「型」を今一度、見直そうというこの取組。教職員の授業力アップに向けて、この10ポイントを意識した授業改善に努めていきます。



④ 学習相談を実施しました！

昨年度からの取組として、定期テスト前に「学習相談」の時間を設けています。6月22日（木）6校時は、その「学習相談」の時間でした。内容は、各教科で自分が理解に乏しいと考えている内容や苦手としている分野をピックアップした上で、各教科担当の先生方に質問するというものです。事前にクロームブックを使って当日に質問したい教科を選び、その内容を入力しています。今日は5教科の先生が5つの教室に別れて待機しました。そこへ各生徒が質問をしに行き、自分の課題を解決します。テスト前ということもあり、少しでも理解を深めたり、できるようになろうと一生懸命に質問をしていました。これをきっかけに、いつでも遠慮せずに、教科担当の先生方に質問できるようになってほしいと思います。



⑤ 3年生、進路説明会

6月23日（金）、5・6校時に3年生の進路説明会を開催。進路説明会では、進路選択のポイントや現在の入試制度について、また、オープンハイスクールや今後のスケジュールについて、担当から説明がありました。生徒たちも、真剣な表情で一つひとつ確認していました。自分にとって一番良い進路選択とは何かについて考える良い機会になったことと思います。ご家庭でもお子様と進路について話し合われるきっかけになればと思います。3年生が受検する令和6年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱が発表され次第、改めて変更点等の情報をお知らせいたします。質問等がございましたら、各担当に遠慮なくお尋ねください。



⑥ 第1回定期テスト

6月26日（月）～28日（水）にかけて、第1回定期テストを実施しました。昨年度から、各教科、複数の単元テストと定期テストを組み合わせる形で、学力テストを実施しています。今回の定期テストは、複数の単元の総まとめのテストになります。どの生徒も一生懸命にテストに取り組んでいました。特に1年生にとっては、中学校生活はじめての定期テストでもあり、緊張した面持ちで鉛筆を走らせていました。また、3年生は休み時間の様子からも、今回のテストに向き合う真剣さがひしひしと伝わってきました。限られ



た時間の中、目標に向かって時間を有効に使い計画的に学習（仕事）を進めていく力は、どこの世界でも求められる力です。テストを通じて身につける力はたくさんあります。これからも、逃げることなく果敢に取り組んでほしいと思います。

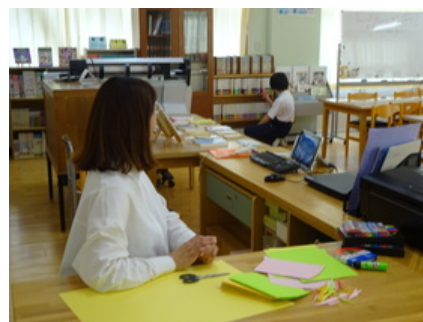
⑦ 凡事徹底・提出物をしっかりとやり切ろう！

6月28日（水）は、定期テストの最終日でした。提出期限を守って、多くの生徒がワーク等を提出しています。「提出率は、合格率」「微差僅差の積み重ねがやがて大差となる」視聴覚教室に貼られている長年、進路指導をしてこられたベテランのA先生がつくられた掲示物の言葉です。今日は定期テストの最終日、提出期限を守って、多くの生徒がワーク等を提出しています。「たかがワーク、されどワーク」 たった1冊のワークですが、これをきっちりとやり切ると、いい加減にやるのとでは身につく学力が大きく違います。「凡事徹底」や「A B C Dの原則（A：当たり前のことを、B：バカにせず、C：ちゃんとやる人が、D：できる人）」ということばがありますが、当たり前のことを当たり前に、しっかりとやり切ることの大切さを、試験を通じて学んでほしいと思います。



<図書室においでよ～図書室を放課後も開館しています！>

6月上旬より、多可町教育委員会の協力を得て、図書館司書の後藤さんにお越しいただいて、放課後の図書室を開館しています。図書室が開設されているのは、原則、毎週火曜日、水曜日、木曜日の放課後、午後3時から5時までの間です。早速、文化部の部員と協力して、生徒が気軽に読書に親しめる環境づくりを進めていただいています。7月3日（月）からは、朝の学習の時間を利用して、「読書ウィーク」も始まります。放課後、部活へ行くまでの時間、少しでも図書室に足を運んで、本を借りてみませんか？



<統合中学校の新制服展示とアンケート投票>

6月7日（水）、朝から2F中央廊下に、統合中学校の制服モデルとエンブレムの展示が行われました。これは多可町立統合中学校開校準備委員会から、令和8年開校予定の統合中学校の新制服の選定にあたり、現役中学生や教職員の意見を聞きたいとの意見が出されたことを受けて、実施されたものです。終わりの会では、クロームブックを使ってアンケート調査を実施。3パターンの制服とエンブレムから、自分が統合中学校に相応しいと思うものを、それぞれ一つずつ選び投票しました。今後、アンケート調査の結果を参考に、多可町立統合中学校開校準備委員会で、制服とエンブレムを決定する予定です。どの制服が選ばれるか、しばらくお待ち下さい。



<おにぎり弁当の日>

6月19日（月）は、今年度最初の「おにぎり弁当の日」でした。お昼休みに1年生の教室を覗きましたが、それぞれ一生懸命に握ったおにぎりを嬉しそうに頬張っていました。友達の握ったおにぎりを見るのも楽しいものです。本校で10年以上続けられているこの取組。普段は子どもたちにとって当たり前のように用意される食事。



そのありがたさを少しでも感じてもらいたいという想いから始まりました。この日は生徒自身が炊いたご飯でおにぎりを作り、それを弁当として持ってきます。家族の手を借りないで、生徒自身で手作りします。ご家族の方のアドバイスや応援は大歓迎。他の日に、家族のために、また家族と一緒に食事の用意をする姿が生まれれば、とてもうれしいことです。本校では、この取組を学期に1～2回設けています。おにぎり作りがきっかけとなって、健康や食事のこと、家族のことを考えるようになれば、とても素敵なことだと思います。

＜花壇に、花の苗を植えました！＞

6月29日（木）、美化部の3年生が、掃除の時間に体育館前の花壇に花の苗を植えてくれました。これは、県立フラワーセンターが実施されている「花と緑の郷土づくり事業」（花と緑の郷土づくり運動の推進に必要とする種苗を配布する事業）を活用し、ポチュラカ96本、マリーゴールド77本、サルビア12本の計185本もの花の苗をいただいたものです。雨が降ってくるのを心配しながらの作業でしたが、みんな手際よく植えてくれました。しばらくすると、きっと美しい花を咲かせ、みんなの目を楽しませてくれることでしょう！



3、お知らせとお願い

＜熱中症予防のために～帽子・お茶を忘れずに～＞

梅雨真っ只中で、蒸し暑い日が続いています。学校でも連日、熱中症指数（WBGT）を確認しながら、体育や部活動等を実施しています。保護者の皆さまにおかれましても、熱中症を防ぐためにも、お子様に体育や部活動の際に着用する帽子を持参させてください。また、水分を補給量も多くなりますので、お茶やスポーツドリンクを多めに持たせてくださいますようお願いいたします。



＜PTA会費引き落としのお知らせ＞

7月の学年費より、PTA会費の前期分1200円を支出します。弟妹がいる場合は半額のため、後日、学年費の引き落とし口座に返金させていただきます。

＜ハートフルスクール2023＞

多可町では、中学生の夏の人権学習として、ハートフルスクールを夏休みに開催しています。人権の学習は、机に向かっての学習も大切ですが、自ら体験を通じて学ぶことで、さらにその学びが深くなります。夏休みの人権作文を書く際の題材にもなります。せっかくの夏休みです。少しお出かけして素敵な体験をしてみませんか。今年度のプログラムは下記のとおりです。既に配布してあるハートフルスクールのチラシについている申込書に必要事項を記入して、教頭先生まで申し込んでください。詳しくは、先日配布されたチラシをご覧下さい。チラシがない場合は申し出てください。メ切は7月11日（火）です。



- 【プログラム】①8月 8日（火）・・・生野コリアタウンフィールドワーク（大阪市生野区）
②8月21日（月）・・・夏のスイーツランチで交流（八千代プラザ）
③8月25日（金）・・・ハンセン病と長島愛生園（岡山県）

＜表彰の記録＞

○良い歯のコンクール表彰（西脇市多可郡学校医師会主催）

優秀賞・・・ さん（3年）、 さん（3年）



4、部活動

<第37回北播中学校吹奏楽祭>

6月10日(土)、三木市文化会館で、第37回北播中学校吹奏楽祭が開催されました。本校は午前の部、7番目の出演でした。演奏曲は「マイホームタウン」。久しぶりの入場制限のない吹奏楽祭です。会場は、凜とした厳粛な空気に満ちており、いよいよ本番。顧問の吉田先生の指揮の下、14名の部員が一丸となり、緊張しつつもこれまでやってきたことをしっかりと出して切って演奏しました。



<令和5年度多可郡総合体育大会の結果>

《ソフトボール》

会場：中町中学校

第1試合	八千代中 15-0 中町中
------	---------------

優勝：八千代中、2位：中町中



《野球部》

会場：加美運動公園野球場

第1試合	八千代中 6-1 中町・加美中
------	-----------------

優勝：八千代中、2位：中町・加美中



《男子ソフトテニス》

会場：八千代中学校テニスコート

第1試合	中町中 3-0 八千代中
第2試合	八千代中 1-2 加美中
第3試合	中町中 1-2 加美中

(団体戦) 優勝：加美中、2位：中町中

(個人戦) 2位：ペア



《女子ソフトテニス》

会場：八千代中学校

第1試合	八千代中 1-2 中町中
第2試合	八千代中 2-1 加美中
第3試合	中町中 3-0 加美中

(団体戦) 優勝：中町中、2位：八千代中

(個人戦) 3位：ペア
3位：ペア
5位：ペア
5位：ペア
5位：ペア



「陽光6月号 返信欄」から

【1年生】

- ・部活をがんばっている様です。
- ・もうすぐ初めての定期考査です。自分の納得がいく点数が取れるように頑張ってください。
- ・中学生生活にもリズムが出てきた様に思います。部活に自学にはげんでほしいと思います。
- ・先日、部活の練習試合を見に行きました。部の一員として頑張っている姿を見ることができて良かったです。
- ・「挨拶」は大きなパワー……本当にそのとおりだと思います。

【2年生】

- ・トライやるウィークが終わりました。最終日が荒天の為中止になってしまったのは残念でしたが、毎日帰ってくると、お世話になった事業所での様子をとても楽しそうに話してくれて、充実した一週間だったようです。
- ・トライやるウィーク、とてもよい経験になったと思います。ひと回り立派に成長したように見えました。トライやる中、八中の先生が見に来られた時、嬉しくて泣きそうになったそうです。緊張しながら気を張ってがんばっていたんだなーと思いました。よくがんばりました。
- ・トライやるウィークを終えて、働くことに対していろいろ学べたと思います。いい経験ができましたね。事業所によってすることは違うけれど、人と人とのコミュニケーションを学べたんじゃないかと思います。
- ・総体、頑張ってください。

【3年生】

- ・楽しみにしていた修学旅行。大都市東京で、たくさんの経験、見聞を広げられたことでしょう。校舎中のライトをつけてのお迎えもうれしかったと思います。あたたかな気配りありがとうございました。
- ・修学旅行が楽しく無事に終わり、もうすぐテストだけど、しっかり計画を立てて頑張ってください。
- ・もうすぐ期末テストです。がんばってください。
- ・不安と楽しんでくれること期待して送り出した修学旅行でしたが、先生方に配慮していただき、とても良い笑顔で帰ってきてくれました。本当にありがとうございました！！
- ・見ました。修学旅行では先生方に大変お世話になりました。
- ・4年ぶりの東京方面への修学旅行へ……。地震があり心配しましたが、無事に帰って来てホッとしています。一生の宝物になったことでしょう。色々と指導して下さった先生方には感謝しかありません。ありがとうございました。そしておつかれさまでした。
- ・修学旅行中の地震報道に一瞬ヒヤリとしましたが、皆が無事に帰ってくることができて一安心しました。この修学旅行で学んだ集団行動の大切さや、何かを調べ、計画し、実行すること、これからの学校生活でも活かしてほしいですね。余韻に浸りつつも現実の壁に向き合ってください。まずは総体。泣いても笑ってもこれが最後！応援にも力が入りそうです。
- ・とても楽しかった修学旅行だったようです。家での会話も増えました。

日	曜	7 月	日	曜	8 月
1	土	いのちと人権の日	1	火	いのちと人権の日
2	日		2	水	
3	月	NBD、がんばりタイム、水泳（3年）	3	木	
4	火		4	金	
5	水	水泳（2年）	5	土	
6	木	水泳（1年）	6	日	
7	金	漢字検定、東播総体抽選会	7	月	
8	土		8	火	ハートフルスクール「生野コリアンタウン（大阪市）」
9	日		9	水	
10	月	NBD、生徒朝会、がんばりタイム、SC 集金引き落とし日 、水泳（3年）	10	木	
11	火	書写（全学年）、北はりま居住地交流（2-1）	11	金	山の日
12	水	水泳（2年）	12	土	
13	木	1年生校外学習（京都）、3年生租税教室	13	日	
14	金	水泳（1年）、生徒会専門部 ※読書アンケート×切	14	月	学校閉庁日
15	土	東播総体	15	火	学校閉庁日
16	日	東播総体	16	水	学校閉庁日
17	月	海の日、東播総体	17	木	
18	火	NBD、生徒会運営委員会 がんばりタイム	18	金	
19	水		19	土	
20	木	1学期終業式、給食最終日、全校集会 大掃除、SNS講座	20	日	
21	金	夏季休業日（～8月31日まで）	21	月	職員作業、ハートフルスクール「夏のスイーツランチで交流（「八千代プラザ）」
22	土	県総体	22	火	
23	日	県総体	23	水	
24	月	三者面談①、県総体	24	木	
25	火	三者面談②、県総体	25	金	ハートフルスクール「ハンセン病と長島愛生園（岡山県）」
26	水	三者面談③、県総体	26	土	
27	木		27	日	PTA奉仕作業
28	金	生徒会クリーンキャンペーン	28	月	
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	

※OHS（オープンハイスクール）は学年だより（3年生）参照

キ リ ト リ 線

《第4号（7月）返信欄》

年 組 番 氏名（ ）の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉（掲載可 どちらでも 掲載不可）